



第2回「PLIJ STEAM・探究グランプリ」の応募受付開始

2025年6月16日

(一社)学びのイノベーション・プラットフォーム(PLIJ)

一般社団法人学びのイノベーション・プラットフォーム(PLIJ)は、昨年度、内閣府・文部科学省・経済産業省・日本経済団体連合会・経済同友会・日本商工会議所のご支援を得て、第1回の表彰を行ったところですが、この度、下記のとおり第2回「PLIJ STEAM・探究グランプリ」を行うこととし、その応募受付を2025年7月1日(火)より開始いたします。

VUCAの時代を生きる未来人材の育成には、初等中等教育段階のSTEAM教育や探究学習を中心とする新たな学びを「社会総出」で推進していくことが非常に重要です。本表彰制度は、新たな学びの導入・拡大において優れた活動を担う方々を表彰することにより、社会全体において新たな学びへの気運醸成が加速し、産学官公教(※)の参画と連携が促進されることを期待するものであります。結果、我が国人材が国の内外で活躍することの一助になると確信しております。

なお、昨年度開催された第1回「PLIJ STEAM・探究グランプリ」では、後援して頂いた府省及び団体ならびに取組にご賛同を頂いた皆様の御協力によって全国から81件の応募を頂き、選考の結果、10件をグランプリ、2件を特別賞として表彰いたしました。

※「産」産業界、「学」大学などのアカデミア、「官」政府、「公」地方公共団体・教育委員会など、
「教」小中高などの学校

本表彰制度の特徴

各々の生徒の探究活動の努力や成果に対する表彰はこれまでも実施されておりますが、本表彰は新たな学びを支え、促す社会的なフレームワークや、初等中等教育を主たる任務としない組織のプロアクティブで継続的な教育への貢献に焦点を当てます。

日本の復権には教育改革は待ったなし、そのためには「社会総出」で取り組む必要がある、というのが当法人の信念です。

記

(表彰の概要)

- ・主 催 (一社) 学びのイノベーション・プラットフォーム
- ・後 援 文部科学省・経済産業省・日本経済団体連合会・経済同友会・日本商工会議所・朝日新聞社 (以上確定分)

- ・応募資格 学校（小学校、中学校、高等学校、高等専門学校、大学等）、研究機関、企業、経済団体、独立行政法人、地方自治体、教育委員会、科学館、博物館、学術団体、NPO法人等、及びその組み合わせ。
- ・顕彰 表彰楯
- ・受付期間 2025年7月1日（火）～10月10日（金）
- ・表彰 2026年1月予定

（ホームページ）

ホームページにも本表彰について、特別ページを設けております。

https://plij.or.jp/docs/First_Guide_PLIJ_Award_Recruitment_2025.pdf

（取材対応について）

本件の取材を希望される方は、以下の連絡先にご連絡ください。

■ 本件問い合わせ先

（一社）学びのイノベーション・プラットフォーム(PLIJ)事務局

担当：中西・井畑・梅森

電話：03-5452-6621(代表) メール：info@plij.or.jp

法人ホームページ：<https://plij.or.jp/>

社会総出で若者の学びを応援する “STEAM・探究グランプリ”を募集します



PLIJは2021年9月に創設した若い法人です。STEAM教育や探究型の学びの浸透を目的としています。STEAM教育を通じて探究力を養い、世界、国及び地域において、政治、行政、産業、学術研究、芸術・スポーツ、健康・福祉、街づくり・防災分野の未来をリードしていく。

子供たちに学びの機会を提供するのは、学校はもとより、学校以外の様々な主体が貢献することが重要と考え、PLIJは優れた活動実績を有する組織を顕彰し、その功績を世の知るところにしたいと昨年度表彰制度を立ち上げました。2025年度の第2回表彰に向けて7月より募集を開始いたします。

2025年度表彰応募要領について知りたい

https://plij.or.jp/docs/PLIJ_Award_Recruitment_2025.pdf



PLIJの法人概要や活動について知りたい

<https://plij.or.jp>



PLIJのライブラリーについて知りたい

<https://community.plij.or.jp>



表彰募集期間：2025年7月1日～10月10日 表彰式：2026年1月

表彰後援組織：文部科学省 経済産業省 日本経済団体連合会
経済同友会 日本商工会議所 朝日新聞社（以上確定分）



一般社団法人学びのイノベーション・プラットフォーム
Platform for Learning Innovation - Japan (PLIJ)

現在、企業、学校等の会員約480の方々に支えていただいています。
STEAM・探究に意欲ある方には仲間になって共に子供の成長に貢献していただきたいと存じます。

東京都目黒区駒場4-6-1 東京大学生産技術研究所内
03-5452-6621 info@plij.or.jp

(一社) 学びのイノベーション・プラットフォーム概要
(PLIJ: Platform for Learning Innovation - Japan)

2021年9月にSTEAM教育(※)の普及・発展をミッションに設立された一般社団法人。
(HP <https://plij.or.jp/>)

※Science, Technology, Engineering, Mathematics に Liberal Artsを加えた教科融合型、課題発見型の教育。

STEAM教育を通じた探究力の育成を初等・中等教育段階から浸透させることを目的として、「社会総出」で学びに貢献することを目指している。

PLIJの活動の主要なものは次のとおり。

- ① STEAMの学びに資する動画等のコンテンツのプラットフォーム運営 (PLIJ STEAM Learning Community 2025年3月現在 1,095件収納) <https://community.plij.or.jp/>
- ② 学びの現場へ産業人・研究人材など(メンター)を派遣するためのマッチング
- ③ 産学官公教の交流を促すイベント開催 (PLIJサマーキャンプ、女性活躍応援イベント、STEAM人材育成研究会など)

PLIJは会員によって支えられており、現在、企業会員(正会員)、高校・大学・教育委員会など400超の特別会員と連携しつつ、上述のミッションの実現に取り組んでいます。

PLIJ役員

2025年6月12日現在

理事	理事長	浦嶋 将年	元鹿島建設株式会社専務執行役員
	専務理事	田中 幸二	元株式会社日立製作所副社長
	理事	江村 克己	福島国際研究教育機構理事
		佐田 豊	株式会社東芝上席常務執行役員
		鈴木 宏治	東京都立立川高等学校統括校長
		島田 啓一郎	元ソニー株式会社執行役員
		清水 喬雄	元JSR株式会社取締役上席執行役員
		田中 敏宏	大阪大学統括理事・副学長
		年吉 洋	東京大学生産技術研究所長
		中島 さち子	株式会社steAm代表取締役社長
		中西 淳二	(一社)学びのイノベーション・プラットフォーム企画・管理部長
		福田 加奈子	住友化学株式会社常務執行役員
監事		吉田 裕明	元住友化学株式会社監査役

PLIJ正会員 (40社)

2025年6月1日現在

株式会社IHI	株式会社 島津製作所	株式会社大和証券グループ本社	株式会社日立製作所
株式会社アシックス	清水建設株式会社	株式会社竹中工務店	富士通株式会社
株式会社INPEX	住友化学株式会社	東京エレクトロン株式会社	株式会社堀場製作所
鹿島建設株式会社	住友生命保険相互会社	東京電力ホールディングス株式会社	丸善雄松堂株式会社
株式会社関電工	住友電気工業株式会社	株式会社東芝	株式会社三井住友フィナンシャルグループ
KDDI株式会社	全日本空輸株式会社	株式会社図書館流通センター	三菱ケミカル株式会社
三機工業株式会社	ソニーグループ株式会社	株式会社ニコン	三菱地所株式会社
JX金属株式会社	太陽誘電株式会社	日鉄エンジニアリング株式会社	三菱商事株式会社
JFEスチール株式会社	第一三共株式会社	日本製鉄株式会社	三菱電機株式会社
株式会社JTB	大日本印刷株式会社	日本電気株式会社	吉本興業ホールディングス株式会社

PLIJ特別会員 (438)

中学・高校 251、高専・専門学校・大学 89、行政庁・国立研究開発法人・独立行政法人 16、自治体・教育委員会 44、博物館・科学館 33、支援団体 5



一般社団法人
学びのイノベーション・プラットフォーム
Platform for Learning Innovation - Japan (PLIJ)

〒153-8505
東京都目黒区駒場 4-6-1 東京大学生産技術研究所内
[電話]03-5452-6621 [FAX]03-5452-6623

PLIJ STEAM・探究グランプリ

応募要領



一般社団法人
学びのイノベーション・プラットフォーム
Platform for Learning Innovation - Japan (PLIJ)

第2回「PLIJ STEAM・探究グランプリ」応募要領

(一社)学びのイノベーション・プラットフォーム

2025年度に実施する第2回「PLIJ STEAM・探究グランプリ」の応募要領を次のとおり定める。

1. 目的

社会の持続的発展のためには、多様な価値創造力を有する未来人材の育成が大事であり、それらの資質を養うSTEAM教育や探究学習を中心とする新たな学びを社会全体で推進し、さらに継続的で横連携したシステムに築き上げていくことが非常に重要である。このため、STEAM教育や探究学習の充実に資する社会からの貢献活動や社会からの貢献を受け入れるスクールマネジメントなどの優れた活動を担う者を表彰し、その努力を顕彰するとともに、広くその功績を周知・浸透させる。このことにより、社会全体の気運の醸成が加速され、産学官公教の関係主体の一層の参画による学びのシステムが進化することを目指す。

2. 主催・後援

- ▶ 主催 (一社)学びのイノベーション・プラットフォーム
- ▶ 後援 文部科学省、経済産業省、日本経済団体連合会、経済同友会、日本商工会議所、朝日新聞社（以上確定分）

3. 賞の種類

「PLIJ STEAM・探究グランプリ」および「朝日新聞社賞」とする。(ほかにPLIJ STEAM・探究グランプリ特別賞があるが、選考委員会が選定することとされており、応募対象には該当しない。)

4. 評価の対象

次の二つの活動を本表彰制度の評価の対象とし、これらに該当する活動の当事者からの応募により選考を行って、受賞者を選考する。

(1) STEAM教育、探究学習などの実践を支える社会的なフレームワークに注目し、その成果が顕著なもの

- 産・学・官・公・教が連携(部分的な連携も含む)して新たな学びを支える活動
(例)STEAM教育、探究学習に取り組んでいる学校が企業・大学等との協力(出張授業、企業現場や研究室見学受け入れなど)を得て、より広く、深いSTEAM教育・

探究学習につながっている活動

- 産・学・官・公・教が連携した地域の教育エコシステムの構築

(例)STEAM 教育、探究学習の充実のため、地域の産学官公教の主体が、学校のニーズに応じて、それぞれの主体が持てるリソースを学校に提供する地域のフレームワークの運営

(2)STEAM 教育及び探究学習に係わる社会貢献活動やアウトリーチ活動として継続反復する活動

(家庭・学校以外のサードスペースでの活動を含む。)

- 企業、団体が社会貢献活動の一環として新たな学びを支援する活動

(例)企業や経済団体が方針として学びへの支援を位置づけ、継続反復して、学校や学生・生徒の学びを支援する活動

- 大学、研究機関がアウトリーチ活動として生徒の学びに対して積極的に支援する活動

(例)大学、高専、研究機関が持てる研究人材や研究設備を生徒に提供し、学校では体験できない研究経験を提供する主催者の組織的プログラム

5. 応募資格

学校(小学校、中学校、高等学校、高等専門学校、大学等)、研究機関、企業、経済団体、独立行政法人、地方自治体、教育委員会、科学館、博物館、学術団体、NPO 法人等、及びその組み合わせ。

6. 選考

PLIJ STEAM・探究グランプリについて、以下の評価基準をもとに事務局で候補リストを作成し、設置予定の選考委員会にて審議の上、最大 10 件の受賞者を決定する。

後援組織等から交付される賞の選考は、上記受賞者の中から選定する。

評価基準	
活動の有用性	<ul style="list-style-type: none">・従来の学びに比して、活動実施により加えられた学びの価値は何か。・生徒の成長が認められる有意な効果があったか・学びに貢献する側(企業や大学等)に、たずさわった人材の成長やエンゲージメント向上など、プラスの効果があったか。・活動によって、学びを経験した生徒の累積人数等、地域社会の学びにインパクトがあったか
活動における社会連携	<ul style="list-style-type: none">・連携の当事者主体間の主導性と各当事者の役割はどうか。・連携を推進するためにどういった工夫を講じているか。・当事者主体間で実践の評価を共有しているか。

活動の継続・発展性	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の活動実績(規模、継続期間、頻度) ・活動継続に関する今後の予定 ・今後どのような発展が期待できるか。
活動の新規性・独自性	<ul style="list-style-type: none"> ・新規性や独自性のある要素が含まれているか。 ・学びのイノベーションにつながったか。

7. スケジュール

- 応募受付 令和7年7月1日～
- 応募締切 令和7年10月10日
- 審査 令和7年10月～12月(予定)
- 審査結果公表 令和8年1月(予定)
- 表彰式 令和8年1月(予定)

8. 応募手続き

➤ 提出書類

● エントリーシート(必須)

エントリーシート中の「3. 活動の内容」には、なるべく活動の開始時期とその後の進展、累積対象者数(概数でも可)を記載してください。また、公的資金の支援があるかないか、学びの場と社会の側のそれぞれの貢献、努力、工夫などについて記載してください。

Word形式

<https://plij.or.jp/docs/Entrysheet PLIJ Award Recruitment 2025.docx>

● エントリーシートの内容を補完する資料(任意)

※事務局まで郵送もしくは e-mail にて提出する。FAX による提出は不可とする。

➤ 申込締切

令和7年10月10日 必着

➤ 応募書類提出先

〈郵送〉

〒152-8505 東京都目黒区駒場 4-6-1 東京大学生産技術研究所
 (一社)学びのイノベーション・プラットフォーム
 「PLIJ STEAM・探究グランプリ」 担当者 宛

〈メール〉

info@plij.or.jp

※添付データが 6MB 以上になる場合は、問い合わせ先までご連絡ください。
 別途送付方法をご連絡いたします。

9. 注意事項

- 提出資料等の返却は行わないものとする。

- 選考過程および選考結果に関する問い合わせには応じないものとする。
- 応募組織名・個人名や活動内容について、新聞・雑誌・当法人サイト等インターネットでの公表に同意するものとする。また報道関係からの取材の際には、応募者に対して協力を依頼することがある。
- 受賞者には、表彰式への出席、および表彰の対象になった活動についての講演をお願いする。また、世の中への発信など、表彰の趣旨である優れた取組みの周知による社会への展開にご協力いただく。
受賞者が表彰式に参加し、活動内容のご紹介を頂くにあたって代表の方1名の旅費を支給する。

10. 個人情報の取り扱いについて

応募者の個人情報は、選考及び運営に必要な範囲内で利用し、第三者へ提供することは一切無いものとする。また応募者の同意なく、利用目的を超えて利用することは無いものとする。

11. 問い合わせ先

(一社)学びのイノベーション・プラットフォーム(PLIJ)事務局 担当:井畑
電話:03-5452-6622(代表) メール:info@plij.or.jp
法人ホームページ:<https://plij.or.jp/>

以上

第 2 回「PLIJ STEAM・探究グランプリ」エントリーシート

1. 活動の名称(活動の概要が分かるよう簡潔に 30 文字以内でご記載ください。)
2. 活動参加組織(複数組織による活動の場合は軸となる組織に※印を付して下さい。)
3. 活動の内容(概要)
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(注 1)活動の開始時期とその後の進展、累積対象者数、学校の場合は外部からの資金面の支援があれば記載ください。</p> <p>(注 2)学校と社会の側からの連携の場合、双方が努力したことについて触れてください。</p> </div>
4. 別紙補足資料の概要(タイトル)

本件に関する連絡先

所属組織、担当者名	
連絡先住所	
電話番号	
メールアドレス	

5. 下記評価基準に関連し、活動における具体的な説明、工夫した点等をご記入ください。

有用性:

社会連携:

継続・発展性:

新規性・独自性: